

令和3年度第6回ミニ自然観察会実施結果報告

日 時：令和4年3月5日（土） 午後2時から午後3時まで

テーマ：生物の春 植物・鳥・昆虫何が見つかるかな

結 果： 挨拶の後、早速、上池から観察会を始めました。池を覗くとメダカが泳いでいるのが見られ、参加者は子供の頃に川で、小さい魚が泳いでいるのを思い出して、懐かしそうに話されていました。網で池の底をさらうと、落ち葉の中からたくさんのヌマエビがピョンピョン出てきて、その数に参加者は驚いていました。ちょうど花芽が膨らみ、数輪開花した河津桜を見ました。センターに石棺がある話が出て、見たいとの声で、石棺まで行くことにしました。途中、参加者がオオイヌノフグリやホトケノザなどを見つけ観察することができました。また、木の株に生えているアラゲキクラゲを見て、スーパーで売っているキクラゲが、身近にもあることに驚いていました。ちょうどユズを剪定していたので、葉を取ってミカン科の葉の特徴である単身複葉の話をしました。石棺をのぞき込んだ後、古墳も意外と身近にあることがわかり、観察会を終了しました。

まん延防止等重点措置が発令され、来館者が少ない中、観察会への参加者も今までになく少数での観察会となりましたが、常緑樹の葉はいつ落ちるのかとか、モグラについてなど多くの質問が飛び交う中、充実した観察会になり、参加者の皆さんは満足したようです。

(腰塚昭温)

当日の様子を紹介します。



河津桜



アラゲキクラゲ



オオイヌノフグリ